

星屑

May 1999
No. 290



星屑

May 1999

No. 290

写真を貼って下さい

「アークトゥルス」

撮影日時：1997. 11. 4 5:48

撮影場所：熊本県上益城郡清和村

カメラ：ニコン NewFM2 50mm F4.7 15S

フィルム：エクタクローム E100S

撮影：中尾達也

熊本県民天文台

今年の総会は、おもしろい!

来る、5月30日 総会： 午後 1時半から

講演会： 午後 2時半から

「実験で探る彗星の謎」 講師： 菅原 賢 氏

城南町 火の君総合文化センター 視聴覚室で

いや、表題はちょっと間違っているかも!?

おもしろいのは、「記念講演会」なのだから……。 ぜひ、おいでください!

このの起こりは、県民天文台きっての「おもしろ人間」=高田君の提案だ。

彼は、不思議な「理想の結婚式の予感」をメーリングリストに発表して以来、大方の予想を裏切って、早々と彼女をつれて天文台に現れた……。そして、ヨーロッパ日食に間に合わせるために(?) 結婚式の日程をねじ込んでしまったとか(!)。とにかく、たのしい話題には事欠かない。

おっと! いきなり話が横道にそれましたね、急いで本題に戻しましょう。

今年の総会について話し合いを持った「トークアバウト」の席で、何の前触れもナシに、高田君の提案。「東京におもしろい人がいるんですがネ、総会の講演に呼んで、いろいろやってもらったら良いですよ!予約を入れたら日程もあけてもらえるそうですし、自分が川崎に住んでいる頃、よくゼミで話を聞きましたが、とにかくおもしろいのなんのって・・・」

そうです、彼はもう、すべて決めているんです。

みんなキョトンとして、しばらくはその話題について行けない様子でした。(私がそう思っただけかな?)

ところが、しばらくして、講師の菅原さんについての情報が伝わって来るにつれて、みんなの雰囲気が変わってきました。いえ、がらっと変わって、「面白いんじゃない!、ぜひ来てもらおうよ!」って感じなんです。

その辺のことは、言葉ではうまく言い表せないので、(何せ急に原稿を頼まれたものだから)、メールのやり取りの内、残っているものから拾ってみましょう。

わいわいがやがや、みんなで楽しめそうな、とっても良い企画だと思いますヨ!

----- 以下は、高田君からのメール -----

TO: 菅原 賢さん(厚木市子供科学館)
 艶島 敬昭(熊本県民天文台・台長)
 中島 尚(熊本県民天文台・副台長)
 小林 壽郎(熊本県民天文台・副台長)

平成11年度 熊本県民天文台総会 記念講演会(5/30)について

まいど、高田です。

艶島さんへ:

菅原さんから、5月30日の記念講演会の件について了解してもらいました。
あわせて、プロフィールを送ってもらいました。

菅原さんへ:

実験の荷物は私の自宅宛に送ってくればよいです。熊本県民天文台では、昼間誰も人がいないので、うけとることができません。ところで、今回の件についてメールの送り先は、
y_takata@mb.infobears.ne.jp へおねがいします。

みなさんへ:

今後、記念講演会についていろいろ決めなければならないこと、相談しなければならないことがでてくると思います。私が間に立って、やりとりするのも結婚を控えた身としては大変なので(^_^)、このように関係者の間でメールのやりとりをすることで進めていきたいと思っています。でも、基本的に、言い出しっぺの私が調整をとることになると思いますが。

一応、みなさんのご紹介を私のほうからしておきたいと思います。

菅原 賢さん:

厚木市子供科学館で、子供達に天文に限らず広く自然科学教育活動をされながら、ご自身は彗星の研究をされています。また、私みたいな後進のアマチュア天文家の面倒をよく見られています。「水曜彗星物理ゼミ」主催。

酒を飲むと、よく子供達への科学教育の難しさを熱っぽく語られて

艶島 敬昭さん:

16年前、全国でも例を見ない一般公開を行うアマチュア天文家による天文台をつくることに

なったその仕掛け人・張本人。台長になって4年目（ぐらいでしたっけ?）

去年からパワーポイントを用いた「天文電子紙芝居」に凝ってらっしゃいます。

勤め先は、どこぞの電気会社の「システム開発部」です。会社で天文台の仕事をされ、会社の仕事が終わらないと、天文台で会社の仕事をされています。

小林 壽郎さん：

もう、あんまり説明する必要はありませんね。最近、小惑星の命名権をとったことで、一躍有名になりました。その、祝賀会では・・・

中島 尚さん：

中学校で理科の先生をされています。のんべです。昨夜は、卒業式前の中学校の「警備」のため泊まり込みをされています。中学の先生は大変です。

以上

----- 以下は転送メッセージ -----

菅原です。

メール拝見しました。

>遅くなりました。講演会の件ですが、城南町教育委員会との共催で5月30日

>（日）おこなうことにまりました。大丈夫でしょうか。

OKです。

●プロフィール

私も書いたことがないのですが、こんなものでいかがでしょうか？

菅原 賢（すがわら けん）

1964年10月22日生 34歳

1987年3月 日本大学文理学部応用地学科卒業

1987年4月 神奈川県厚木市教育委員会生涯学習部青少年課子ども科学館

臨時職員

1988年4月 同上正職員として採用

現在学芸員として勤務

勤務先住所 神奈川県厚木市中町1-1-3厚木シティプラザ7F

電話：0462-21-4152 FAX：0462-24-9666

職務内容 プラネタリウムを併設した科学館で、天文教育を含む科学教育全般を担当。

●その他

>総会と講演会を形の上で分離して、一般にも公開した形での「講演会」にして
>共催をもらう予定です。それに見合った内容の紹介文を書いてください。

ということは、教育云々というより、具体的な実験教室のような内容の方がよいでしょうか？
もちろん、私はどちらでも構いません。

子ども達も来るであろうこと、また天文台の総会であることを考えると、実験を入れながらの天文教室といった方向でいきましょうか？ 以前、水曜ゼミMLでちょっと紹介した『実験で探る彗星の謎』なんていうのはいかがでしょうか？

ドライアイスで彗星核の模型を作る。

顕微鏡で彗星ダスト(?)を観察

バスクリンでコマの発光メカニズムを探る

ポットのお湯などを使い、氷の蒸発を調べる

などの内容。小学生から大人まで楽しんでもらえます。

ところで、実験主体となると荷物が結構な量になります。

事前に宅急便で送っても構いませんか？

=====
== Ken Sugawara ==
== E-mail: se2k-sgwr@asahi-net.or.jp ==
== http://www.asahi-net.or.jp/~se2k-sgwr/ ==
=====

----- ここまでが転送メッセージ

それでは、みなさんよろしく御願います。(高田祐一@熊本県民天文台)

----- その辺で採ってきた土を、ドライアイスにまぶして、「彗星核」を自分で作る。
その次は・・・、これはきっと面白いぞ！ みんなを、呼んで、来てね!! -----

新観測室完成報告

こんにちは。会員ナンバー249の後藤です。普段は天文台ではほとんど活動していませんので、知らない方が大部分だと思います。

さて、念願だった観測室が自宅庭に完成しましたので報告します。今までは借家住まいで、観測室はあるにはありましたが、自作の使いにくい小屋でした。ほとんど観測は休眠状態でした。これでやっと活動できる環境がそろいました。顕著な現象がある時など、会の皆さんにも使ってもらえればと思います。

設置している望遠鏡はオーソドックスなニュートン式反射。ヨシカフ光器製口径20cmのF10です。架台はクラシックなドイツ式。宇治天体精機製です。細かな部分までていねいに作ってある架台ですが、赤緯軸がタンジエントスクリューによる手動微動なのが難点と言えば難点です。観測室はニッシン社製のスライディンググループで、2425タイプです。広さは内寸で230×240cmほどです。鏡筒が長いのでやや狭く感じますが、ぜいたく

は言えません。レールが観測室の外にはみ出していないのが一番の特徴でしょう。屋根の開閉はスムーズで、片手で十分です。そうしたことから、ニッシン社ではスライディンググループに自信を持っているようで、同社独自に“スライドルーフ”と呼んでます。

スペックでお分かりの通り、望遠鏡は月・惑星鏡です。おのずとおもな私の観測対象は月面・惑星面散歩です。特に月面の散策ほどおもしろいものはないと思っています。山あり谷あり、数千メートル級の山脈の荒々しい山容。刷毛で掃いたような平原地帯。そこに落した山の影の美しさ—など月面ほど変化に富む観測対象はありません。

一口に“上弦の月”とか言いますが、見え方（見える月面）はいつも同じではありません。月と太陽の角度（太陽の月面余経度、月面緯度）、太陽と月と地球の角度（位相角、離角）と距離（地心距離）、月の首振り運動、地球の首振り運動など地球、月、太陽の位置関係は常に変化し、地球からの見え方は複雑な要素がからみあっています。です

から先月の上弦と今月の上弦は微妙に違わずで、見える月面も違います。今、見えている月面は、そのとき限りしか見えないかもしれません。そう考えると何か新しい発見があるのではないかとワクワクします。オニール橋は発見された時以後は、見える条件がそろわないので見つからないのかもしれませんが。オニールが発見した時の条件がそろった時、ぜひ見てみたいものです。惑星面は表面の状態そのものが変化します。月面ほど多くの地形（大気の様相）が見られるわけではありませんが、そういう意味では月面より見応えがあると思います。

月・惑星対星雲・星団といった対立する関係ではありませんが、よく天体観測の対象をこの両者で線引きされるようです。月・惑星の一番の面白みは、観測対象が常に変化するので、それを追いかけることだと思います。月面の場合は正確に言うと表面の変化ではなく見え方が変わるだけですが、それでも、いつ見ても月は新しい顔を見せてくれます。それは先に述べた通りです。変化を確認し、あれこれ原因や次の展開を推測するのは、天文学者の気分でしょうか。一方、星雲・星団はそれ自体が変化することはまずありません。今年のM4 2が去年のM4 2より広が

っていた一などあり得るでしょうか。ただ、新星の出現という現象はありませんが。ですから星雲・星団の楽しみは、その数が多く一つ一つがさまざまな表情を見せてくれますので、それをたくさん見ることにしたいと思います。

星雲・星団はそれ自体が変化しません。いつ見ても同じです。悪く言えば数が多いだけです。つまり一定の知識と技術を身につけた中・上級アマチュアが、よい観測（写真）を目指すと、1. 光学系が優秀なこと、2. 透明度の良い夜に恵まれる一など本人の努力以外の要素のウエイトが大きいように思います。ところが、月・惑星面観測は、それも必要ですが、加えて常に変化を見逃さないよう、普段から地道な努力が要求されます。観測対象としては月・惑星の方がやり甲斐がある思っています。

私の場合は観測ではなく散歩ですが、特に月面は軽く考えられているようで残念です。

編集部宛にメールで送られてきた原稿です。現在、ほとんどの原稿はメールで入稿しています。みなさんもどうぞたくさんの原稿をお寄せ下さい。後藤さん、今回はありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

2月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率日10日/28日=35.7% 一般来台者数25名 会員来台者22名

| 日付 | 天気 | 来客数 | 担当運営 | 記事 |
|--------|----------|-----|----------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5日(金) | 曇 | | 西嶋 | <p>どうせくもっているからとお仕事してたら晴れたのであわてて来ました。</p> <p>なのに、また曇ってしまった・・・星は見えない、人は来ないので帰ります。</p> <p>観測室の光る星だけみて。リゲルの二重星がいいですね。</p> <p>といて帰るときになって</p> <p>問い合わせのTelあり、いちおう9時まで待ちましたが、やっぱり来られませんでした</p> |
| 6日(土) | 晴 | 6名 | 松野、中島 | <p>M42, M41, 木星, 土星他</p> <p>TSU艶島, 宮本</p> <p>すばる望遠鏡のファーストライトの報道向けビデオテープを宮本さんが入手。みんなで見て「すごい！」を連発!</p> <p>「すばる」に期待しましょう。</p> |
| 7日(日) | 晴 | 10名 | TSU+小林m | <p>艶島, 小林M, 高田</p> <p>会員の立石氏久しぶりに来台</p> <p>城南町の星好きの方から泡盛の差し入れあり</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>木星, 土星, リゲル, ベテルギウス, シリウス, M31, M42, M41, M45</p> |
| 13日(土) | はれ | | 中島せんせい | <p>シャンパン2本, 赤ワイン1本, 白ワイン1本, 日本酒1本</p> <p>中島さんお手製ナベ, チーズフォンデュ, 木戸さんのおいしいさしみ</p> <p>寿郎さん小惑星発見記念えん会</p> <p>本人(=)主役体調不良にて欠席あ～あとホホ</p> <p>高田さんがもってきた「ムトゥ踊るマハラジャ」上映 バカウケ(かい)</p> <p>艶島さん, 長谷先生, 昌樹さん, 高田さん, 西嶋先生, かい, 木戸さん, 町田1家。</p> <p>一応トークアバウトもありました。</p> |
| 14日(日) | はれ | | 艶島さん, かい | <p>M42, リゲル, 土星, シリウス, ……</p> <p>さむかった</p> |
| 19日(金) | 晴れ | 1名 | 長谷, 西嶋 | <p>月, 土星, M42, リゲル, ベテルギウス, シリウス, M35</p> <p>とても宇宙に興味があるというお客さんで入会申し込み書をお渡ししました。</p> |
| 20日(土) | くもりときどき☆ | 2名 | 中島中尾の | <p>M41, シリウス, M42, 土星</p> |

| | | | | |
|--------|----|----|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 21日(日) | はれ | 3名 | T S U氏 かい | すばる, 土星, M42, リゲル, シリウス |
| 27日(土) | はれ | なし | 中島 | さびしい夜でした。 |
| 28日(日) | 晴 | 8名 | 艶島 | 金星, 木星, 土星, シリウス, リゲル, M42, 月 城南町の大川さんが入会されました。 帰ろうとしたところへ宮本さん来台 すばる「ファーストライト」のビデオをいただきました。 |

3月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率日 8日/31日=25.8% 一般来台者数25名 会員来台者21名

| 日付 | 天気 | 来客数 | 担当運営 | 記事 |
|--------|----------|-----|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6日(土) | はれ | 12名 | 中尾の 中島 | 金星, 土星, シリウス, ベテルギウス, リゲル, M42, M41など(中尾の) 2家族, 2人の高校生(?)の女の子でした 3000円も寄付をいただきましたよ!! |
| 7日(日) | 雨の ち晴 | 7名 | 艶島 | 金星, 土星, リゲル, M42, M41, シリウス, M1 西合志天文台の運営ボランティアの人たちが来台「研修」ということだったが, 雨の後のきれいな星空を楽しんでもらった。 途中, 中尾(の)君からパソコン・レスキューのTEL2~3回有り。もらったHDDの処理に苦労しているみたい・・・ |
| 13日(土) | はれ | なし | 中島 中尾(の) | トークアバウト 総会について 中尾(の)のパソコンにHDDを増設しようとする。うーんなんとかなるかも・・・。 艶島, 長谷, 立川 |
| 16日(火) | はれ | なし | | 写真をとりにきましたー。中尾(の) |
| 17日(水) | はれ | なし | | 運営日誌をとりにきてパソコンで入力しました。ついでに星屑発送のときのゴミを片づけました。(高田) |
| 20日(土) | くも り | 2名 | 中島中尾の | なにも見えず写真を渡す 星くず発送 艶島, 中島, 中尾の, 甲斐, 佐藤, 県立大の?, 熊大のOBの?ともう一人 |
| 21日(日) | 曇 | 1名 | 艶島 | 夕方, 晴れそうだったのでやってきましたが「ドン曇り」お客さんも来そうにないので帰ります。 と違ってたら1名来ました。 |
| 27日(土) | はれ | 1名 | 中島, 中尾の | |

表紙の写真はいかがでしたでしょうか。今月より熊本大学天文研究会のみなさんが撮影した写真が、どしどし掲載されます。読者のみなさん、次号もお楽しみに。

(財)日本宇宙少年団からのお知らせ。

「日本宇宙少年団」団員募集を行っています。熊本での窓口は、天文台会員の上野氏が行っています。興味のある方は直接お問い合わせ下さい。電話 096-325-1810 まで

☆ 5月の天文現象 & 行事 ☆

- 2日(日) 火星が地球に最接近(0.5784625天文単位 等級-1.7等 視直径16".2)
八十八夜
- 6日(木) みずがめ座 η 流星群が極大のころ 立夏(太陽黄経45°)
- 8日(土) トークアバウト(20:00~)
- 9日(日) 下弦(02:29)
- 13日(木) 天王星が西矩(等級5.8等 視直径3".5)
- 15日(土) 新月(21:05)
- 18日(火) 夕方、西北西の空で月と金星が接近
- 22日(土) 上弦(14:34)
- 26日(水) 水星が外合(05:03)
- 30日(金) 熊本県民天文台総会 火の君総合文化センター(13:30~)
記念講演 (14:30~) 御参加お待ちしております。
満月(23:55)

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 1999年5月号 通巻290号
発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台
TEL 0964-28-6060
振替口座 01980-0-24463
熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作
ホームページ http://denouken.kmt-technopolis.or.jp/KUMA/KCAO_TST.HTML